だれもが幸せなまち 草加
草加市

令和6年度における総合教育会議について

令和6年8月19日（月）
令和6年度第1回草加市総合教育会議

SOKA CITY
©2024 草加市

目次

1　令和6年度の総合教育会議で議論したいこと…… 1

2　教育DXについて…… 2

3　英語教育について…… 8

SOKA CITY
©2024 草加市

1　令和6年度の総合教育会議で議論したいこと

⑴　教育DXについて

⑵　英語教育について

⑶　その他

SOKA CITY
©2024 草加市

2　教育DXについて

(1) 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

「第4期教育振興基本計画」（令和5年6月16日　閣議決定）

※デジタルトランスフォーメーション（DX）とは・・・ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること（総務省HPから）

SOKA CITY
©2024 草加市

2　教育DXについて

(1) 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進（続）

④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

DXに至る3段階（電子化→最適化→新たな価値(DX)）において、第3段階を見据えた、**第1段階から第2段階への移行**の着実な推進	**GIGAスクール構想**、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進	教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、**教育データの分析・利活用**の推進	デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

（出典）「第4期教育振興基本計画【概要】」から抜粋

○教育データの種類

行政系データ

国や地方公共団体が統計・調査等により収集・蓄積しているデータで、行政職員や教職員が取り扱う情報

（例）
・児童生徒数
・端末整備の状況
・教育に関する統計調査等

校務系データ

学校運営に必要な児童生徒の学籍情報等のデータであり、教職員が学校・学級の管理運営、学習指導、生徒指導、生活指導等に活用する情報

（例）
・学籍情報（学年、組、番号等）
・出席簿
・指導要録に記載のある成績情報
・進路指導情報（面談記録等）

学習系データ

ワークシートや学習ドリル、アンケート等の学習に関するデータであり、教職員や児童生徒が日々の学校における教育活動において活用する情報

（例）
・端末の利用ログ
・学習の記録（確認テスト結果等）
・アンケートの回答結果
・活動の記録（動画・写真等）

（出典）「教育データの利活用に係る留意事項（第2版）」から抜粋

SOKA CITY
©2024 草加市

2　教育DXについて

⑵ リーディングDXスクール

リーディングDXスクール事業とは

GIGA端末を活用する全国の学校が実践できる事例を創出するために、
小中高等学校約200校を指定し、**GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用した効果的な教育実践を創出・モデル化**し、地域や校種を超えて全国展開することで、
全国すべての学校でICTの「普段使い」による教育活動を更に推進するもの

指定校が実施する具体的な内容

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
・インターネット上の動画教材の活用、外部専門家による
　オンライン授業の実施
・端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等
・校務の徹底的な効率化や
　対話的・協働的な職員会議・教員研修
・実践内容を動画・写真、
　研修のオンライン公開などにより地域内外に普及

令和5年度 埼玉県内の指定校

さいたま市（2校）
川越市（2校）
久喜市（5校）
幸手市（2校）
吉川市（3校）

（出典）「リーディングDXスクール事業 ポータルサイト」から抜粋

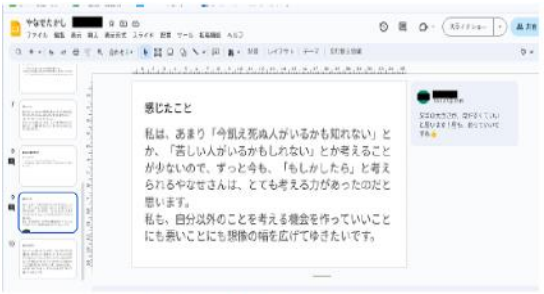
SOKA CITY
©2024 草加市

2　教育DXについて

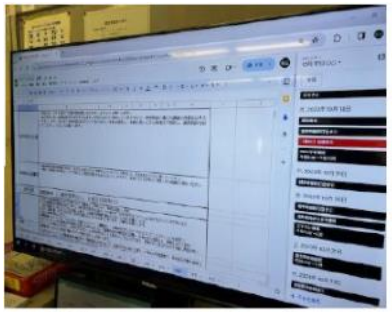
⑵ リーディングDXスクール（続）

事例紹介（令和5年度）：川越市立川越西小学校（川越市）

- **端末を日常的に持ち帰り**学校と家庭との接続強化と学びの連続性を確保
  - ▶ 時間や場所の制約なく学びの継続が可能
- ワークシートのクラウド化による**児童同士の共有を前提とした学習活動**
  - ▶ 学校外でも児童同士の学び合いが可能
- 日報のクラウド化による**校内情報の共有と提示の利便性**を向上
  - ▶ 学校にいなくても予定の確認や修正が可能



↑授業の成果物をスライドでまとめる。
家に帰ってからも自分の課題に取り組んでいる。



↑日報にあたる部分をスプレッドシートで作成し、
カレンダーで予定や出張を同時表示。

（出典）「リーディングDXスクール事業 ポータルサイト」を基に作成

SOKA CITY
©2024 草加市

2　教育DXについて

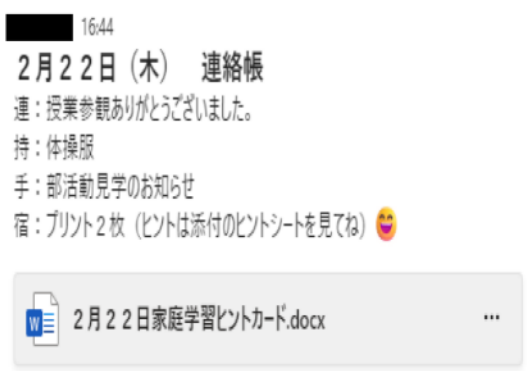
⑵ リーディングDXスクール（続）

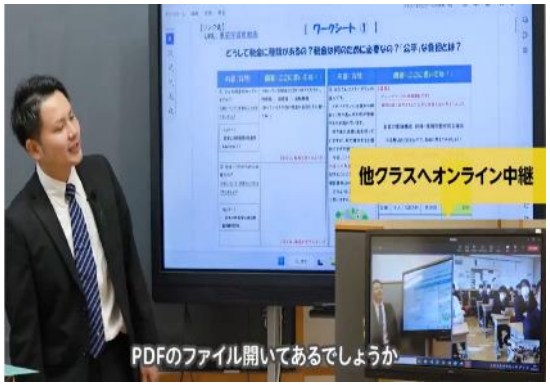
事例紹介（令和5年度）：つくば市立みどりの学園義務教育学校（つくば市）

- 「Microsoft Teams」を活用した**デジタル連絡帳**
  - 家庭学習のヒントを共有することで宿題をサポート

- **オンライン授業**の実施
  - 双方向コミュニケーションを確保しつつ3クラス合同での授業を実施

- 電話連絡待ちやオンライン研修紹介などの**共有チャネル開設**
  - 職員すべてが瞬時に情報の確認や発信が可能





（出典）「リーディングDXスクール事業 ポータルサイト」を基に作成

SOKA CITY
©2024 草加市

2　教育DXについて

⑶　教育DXを推進する上で想定されるメリットと課題

	メリット	課題
学習系	・　生徒一人ひとりに合わせた教育の実現 ・　ITに関する技術と知識の早期習得 ・　学校と家庭の連携強化 ・　場所を選ばない学習環境の構築 ・　事務作業の負担軽減 etc.	・　インフラの整備や維持コスト ・　セキュリティ対策 ・　職員のITリテラシー向上 ・　こどもの視力に与える影響 etc.
校務系	・　事務作業の負担軽減 ・　職員の柔軟な働き方の実現 ・　職員間のコミュニケーションの迅速化や活性化 etc.	・　インフラの整備や維持コスト ・　セキュリティ対策 ・　職員のITリテラシー向上 etc.

次の1.～5.の資料を基に作成
（出典）　1.教育データの利活用に係る留意事項（第2版）（文部科学省HP）
2.GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～（文部科学省HP）
3.「教育ＤＸ」とは？導入メリット・現状の課題とその解決策（NTTPCコミュニケーションズHP）
4.教育ＤＸとは？必要とされる理由やメリット・課題・導入事例まで解説（人材育成のユーキャンHP）
5.懸念される児童生徒の視力低下 学校現場は留意を（教育新聞）

SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

(1) 令和5年度「英語教育実施状況調査」（文部科学省）の結果

○生徒の英語力の状況（中学校）

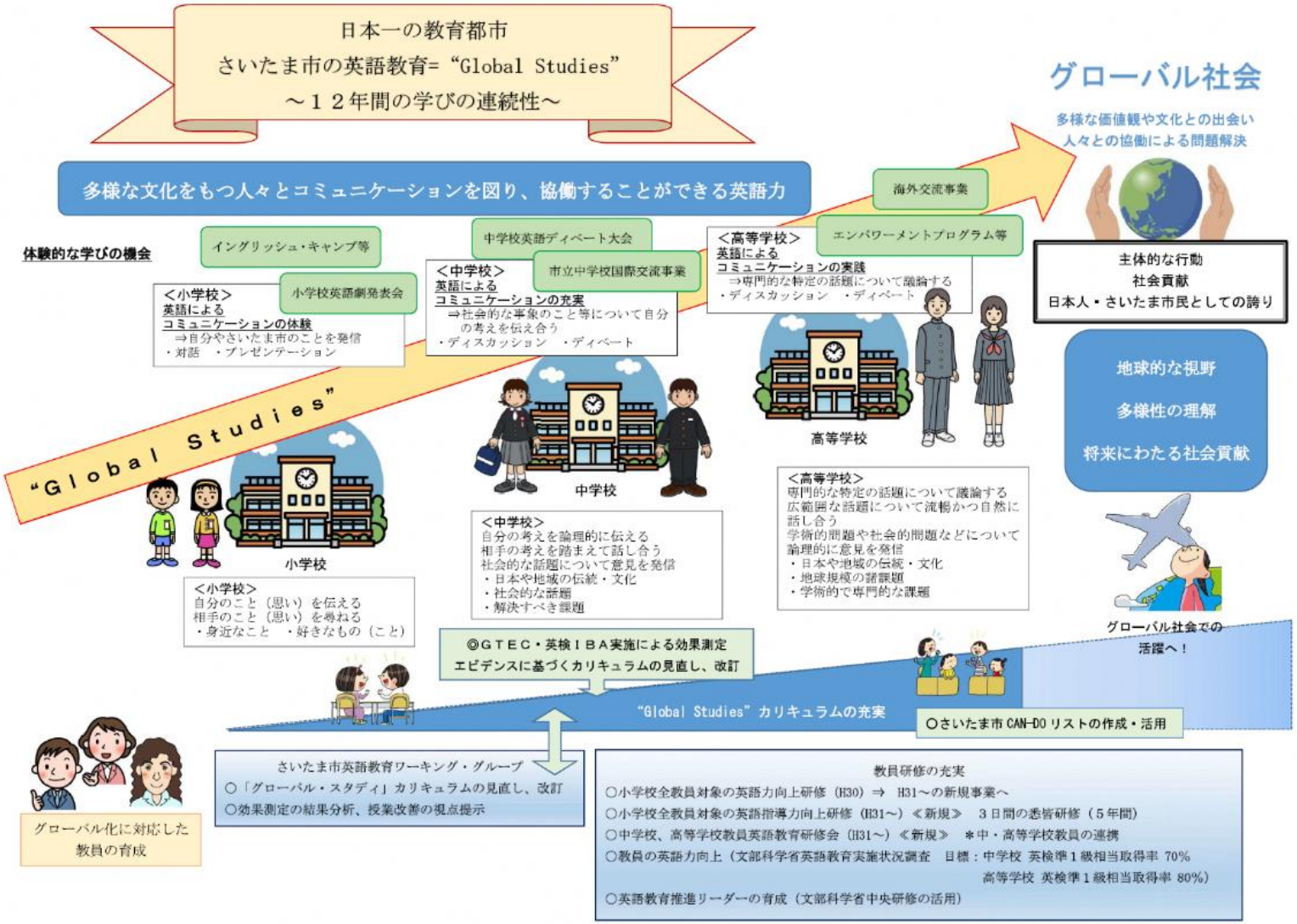
	第3学年に所属している生徒（人）	CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる生徒数	
		（人）	（%）
さいたま市	10,486	9,267	**88.4**
福井県	6,779	5,681	83.8
横浜市	25,621	17,230	67.2
相模原市	5,458	2,732	50.1
草加市	1,953	983	**50.0**
埼玉県	47,553	22,854	48.1
全国	977,198	488,210	50.0

（出典）文部科学省 令和5年度「英語教育実施状況調査」の結果について【都道府県別一覧表】中学校から抜粋
ただし、草加市については草加市教育委員会調べ

SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

⑵ さいたま市の取組



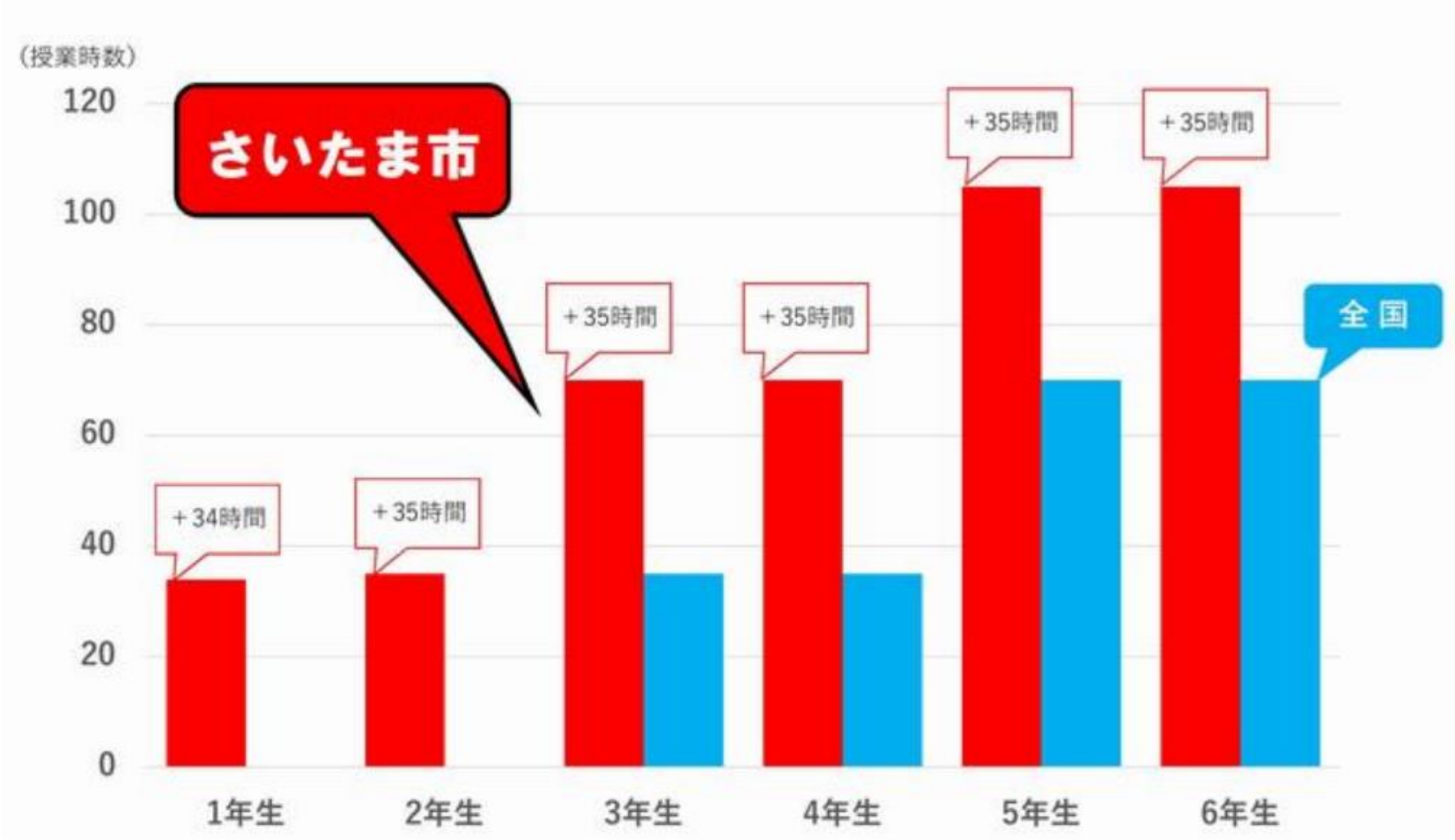
（出典）さいたま市の英語教育“グローバル・スタディ”（さいたま市ホームページ）

SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

○小学校での英語教育

ア　授業時数



（出典）さいたま市の英語教育“グローバル・スタディ”（さいたま市ホームページ）

SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

○小学校での英語教育（続）

イ　指導体制

（出典）さいたま市の英語教育〝グローバル・スタディ〟（さいたま市ホームページ）

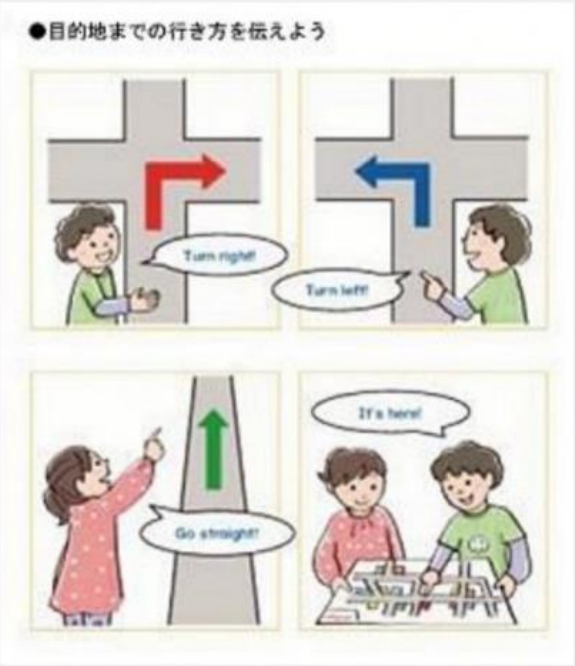
SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

○小学校での英語教育（続）

ウ　独自教材の使用

英語に慣れ親しむことのできるテキスト
（「1・2年生用テキスト」より）



生活の場面に即した学習内容
（「5・6年生用テキスト」より）

（出典）さいたま市の英語教育“グローバル・スタディ”（さいたま市ホームページ）

SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

○中学校での英語教育

ア　授業時数

（出典）さいたま市の英語教育“グローバル・スタディ”（さいたま市ホームページ）

イ　エビデンスを踏まえた指導体制

SOKA CITY
©2024 草加市

3　英語教育について

○英語でやり取りするイベントの実施

・イングリッシュ・キャンプ
・英語ディベート大会
・英語劇発表会

イングリッシュ・キャンプ

英語ディベート大会

英語劇

（出典）さいたま市の英語教育"グローバル・スタディ"（さいたま市ホームページ）

SOKA CITY
©2024 草加市

【参考】家庭における学習環境を整備するための取組事例

○「スタディサプリ」を使用した取組

⑴ さいたま市

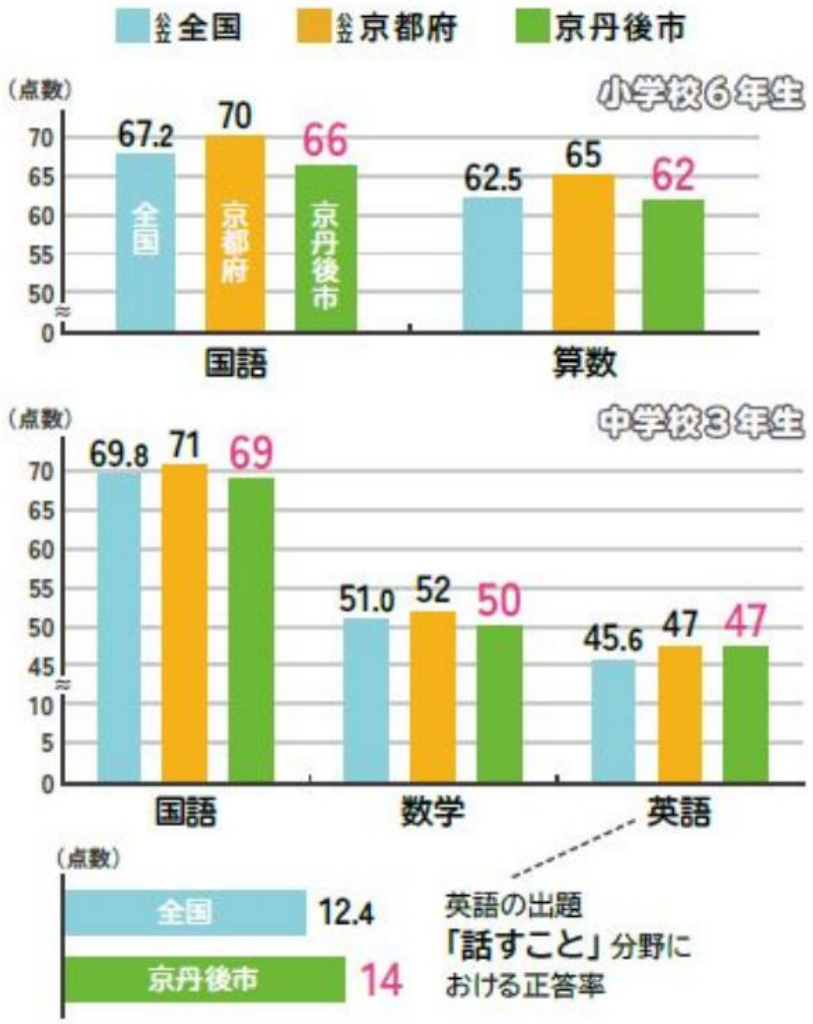
⑵ 名古屋市

（出典）スタディサプリ BRAND SITE

SOKA CITY
©2024 草加市

【参考】こどもたちの学習環境を整備するための取組事例

○「ELSA Speak」を使用した取組
京丹後市（京都府）



（出典）京丹後市児童生徒の全国学力・学習状況調査の結果が出ました （広報京丹後 2023年11月号）

SOKA CITY
©2024 草加市